

# とよた市議会 だより

3月市議会  
定例会号  
平成23年4月15日

ファイルNo.  
103

東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

一般会計1,590億円、特別会計570億円、企業会計282億円、総額2,442億円

## 平成23年度当初予算を議決

ピックアップ  
TOPICS  
トピックス

### 里山暮らし 体験館が完成 (足助地区・新盛町)



**里山暮らし体験館** 里山暮らし体験館が今年5月22日にオープンします。体験館には、都市部からの里山生活の体験者が地元住民と交流するスペースや収穫した食材を調理できる設備などが備えられています。今後、簡易宿泊事業などの各種事業を通して中山間地域の活性化を図ります。

- **トップインフォメーション** ..... ②  
丸わかり・早わかり!特別委員会の調査研究  
特別委員会の活動内容
- **議案説明** 条例の制定・当初予算など ..... ④
- **常任委員会** 付託案件・陳情を審査 ..... ⑤
- **討論・採決一覧** 議案審議結果 ..... ⑧

### 市政について問う!

- **代表質問** 3会派が市長・教育長に質問 ..... ⑩
- **一般質問** 22人の議員が質問 ..... ⑫
- **トピックス** 議場の見学や議会の傍聴など ..... ⑬



# 丸わかり・早わかり!特別委員会の調査研究

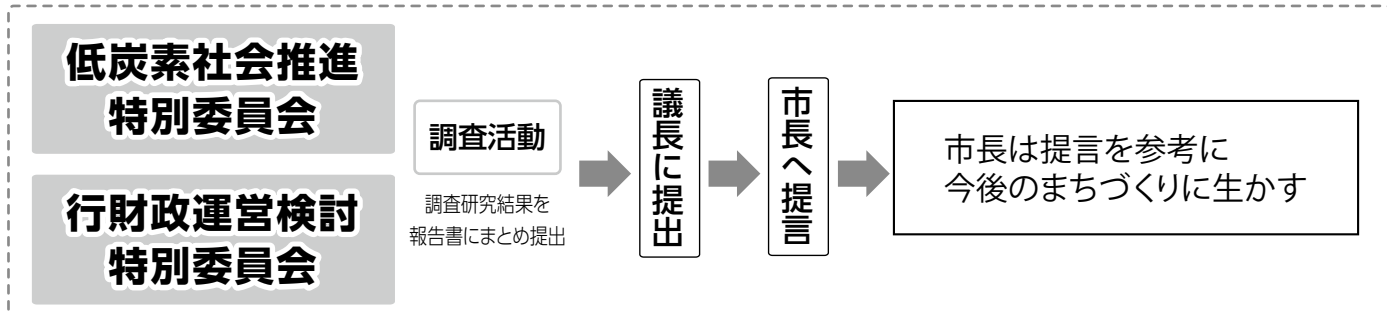
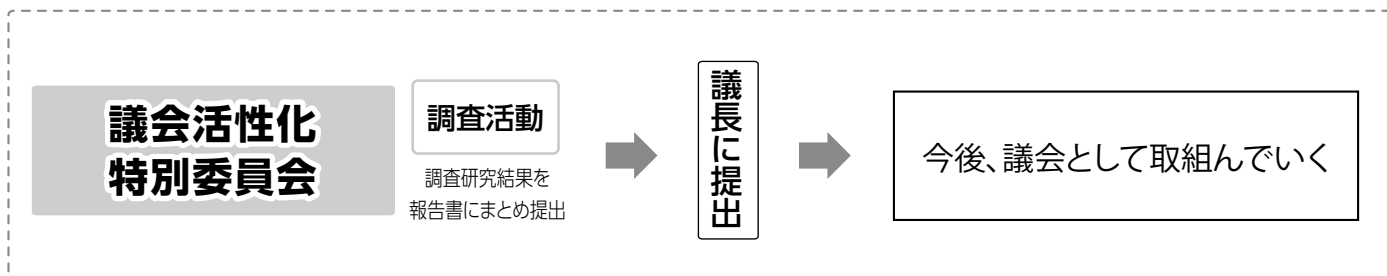
今回ご紹介する特別委員会は、市の重要な課題などについて専門的に審査・調査する委員会です。

今年度、豊田市議会ではより開かれた議会にするため「議会活性化特別委員会」を、またより良いまちづくりを目指し、「低炭素社会推進特別委員会」「行財政運営検討特別委員会」という計3つの特別委員会を設置し、一年間にわたり調査研究を行ってきました。



▲正副議長と各特別委員長から市長に報告書が手渡されました。

## 特別委員会ではどんな活動をしているのでしょうか?



### ◆議会活性化特別委員会

#### 調査テーマ

- 「市民の議会活動への参画の確保」に向けた次の事項
  - ・議会報告会のあり方
  - ・シンポジウムのあり方
  - ・市民意識の把握(アンケート、パブリックコメント等)

#### 活動内容

- 議会報告会等の他市の状況調査
- 議会の活性化に対して先進的に取り組んでいる他市議会の視察
  - ・長野県松本市(議会報告会、市民意見募集)
  - ・千葉県流山市(議会報告会、シンポジウム)
  - ・埼玉県所沢市(議会報告会、市民意識調査)



▲平成21年に開催された議員定数に関するシンポジウムの様子



▲千葉県流山市での視察調査の様子

#### 調査結果 (市長への報告)

- ①市民参加できる「市民シンポジウム」の年1回以上の実施
- ②市民への報告会「地域市議会報告会」の年1回以上の実施
- ③市民意識の把握について、「議会に対する意識調査」の実施(市が2年に1回行っている市民意識調査とあわせて実施)



### ◆低炭素社会推進特別委員会

#### 調査テーマ

- 家庭生活におけるエネルギーの有効活用
- 低炭素社会実現に向けた市民意識の啓発

#### 活動内容

- 市の関係部局から現状などの聞き取り
- 環境対策に取り組む企業等との意見交換
- 低炭素社会の推進に対して先進的に取り組んでいる自治体の視察
  - ・岐阜県岐阜市(まるっと省エネ住宅認定制度、ぎふ減CO2(げんこつ)ポイント制度)
  - ・京都府(エコポイントモデル事業)
  - ・山口県宇部市(宇部市地球温暖化対策ネットワーク)



▲「ぎふ減CO2(げんこつ)ポイント制度」(岐阜県岐阜市)のパンフレット



▲山口県宇部市での視察調査の様子

#### 調査結果 (市長への提言)

- ①加入率の低いエコファミリー制度を充実し、制度の普及に地域やNPO等との連携を!
- ②エコポイント制度の認知度が低いため、制度の理解や周知の積極的な推進を!
- ③身近に取り組める部分でのエコポイント取得及び還元方法や還元メニューの検討を!
- ④地域企業を巻き込みながらエコポイント制度を展開し、地域経済の活性化を!
- ⑤住宅施策については、HEMS\*の活用と積極的な支援の実施を!

\*Home Energy Management Systemの略で、エネルギーの有効活用をする最新のシステムです。

### ◆行財政運営検討特別委員会

#### 調査テーマ

- 協会公社等の公益法人制度改革に対する今後の方向性
- 協会公社等への豊田市の関り方(財政支出、職員派遣等)

#### 活動内容

- 市の関係部局から現状などの聞き取り
- 4つの団体の現地調査
  - 〔(財)豊田加茂環境整備公社、(財)豊田市公園緑地協会、(財)豊田市旭高原自然活用村協会、(社)豊田市シルバー人材センター〕
- 出資法人改革に先進的に取り組んでいる自治体の視察
  - ・栃木県宇都宮市(第3次出資法人等改革推進計画)
  - ・新潟県上越市(出資法人改革)
  - ・富山県富山市(富山市行政改革推進委員会の取組)



▲(財)旭高原自然活用村協会の現地調査の様子



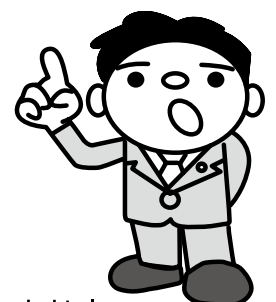
▲栃木県宇都宮市での視察調査の様子

#### 調査結果 (市長への提言)

- ①公益法人認定の取得にあたり、市の積極的関与と市民への情報公開等の推進を!
- ②協会公社等の自立に必要な人材育成等に対する支援を!
- ③今後の協会公社等の経営のあり方については専門家の視点からも分析し、改善策を含めた議会への報告と、民間移譲や他の協会公社等との合併なども検討を!

### 閲覧 調査研究結果の報告書とは・・・

「議会活性化特別委員会」「低炭素社会推進特別委員会」「行財政運営検討特別委員会」の3つの特別委員会についての調査研究結果報告書は、豊田市役所「市政情報コーナー」やホームページで閲覧することができます。



#### ◆お問い合わせ

豊田市議会事務局 TEL.0565-34-6665  
 (豊田市役所・南庁舎6F) FAX.0565-34-6566  
 Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

#### 豊田市議会ホームページ

豊田市議会  検索

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>



# 平成23年度一般会計予算、里山くらし体験館条例の制定など69議案を議決

主な案件名	内 容
<p>条例の制定</p> <p>【第2号】 里山くらし体験館条例</p>	<p>里山での生活体験の場を提供することにより、都市と農山村の交流及び中山間地域における定住を促進します。里山くらし体験館では、農業体験を中心とする交流活動や簡易宿泊事業、間伐等による里山環境整備などの各種事業が展開される予定です。</p>
<p>条例の一部改正</p> <p>【第19号】 産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部改正条例</p>	<p>どんぐりの里いなぶのリニューアルに伴い、どんぐりの湯に新設される低温サウナ室やレストラン棟多目的室(どんぐりテーマ館)の使用料などを設定します。</p> <p>なお、浴室・露天風呂が拡張されるほか、休憩ゾーンやレストランも充実されます。</p> <div data-bbox="1050 725 1458 992" data-label="Image"> </div> <p>▲新たに設置される露天風呂の完成イメージ</p>
<p>当初予算</p> <p>【第21号】 平成23年度 豊田市一般会計予算</p>	<p>長引く景気低迷や急激な円高の進行等により、現在のような厳しい財政状況が常態化する可能性を想定し、限られた予算規模の中でも、質の高いサービスを提供できる財務体質の維持を念頭におき、対前年度比2.2%増、総額1,590億円の予算としました。</p> <p>歳入では、市税全体で842億円、前年度に比べ55億円の増額を見込んでいます。歳入不足は、財政調整基金からの繰り入れ67億円、市債の新規借り入れ130億円などを活用します。</p> <p>歳出では、子育て、福祉、保健医療、教育、安全・安心など市民生活に直結する施策の事業費確保を最優先するとともに、将来に向けたまちづくりに必要な投資額を確保するため、普通建設事業費を始めとする投資的経費を308億円確保しました。</p> <p>※平成23年度の予算や事業の詳しい内容は、広報とよた4月1日号に折込みの「予算のあらまし2011」をご覧ください。</p>
<p>財産の取得</p> <p>【第57号】 市北部給食センター用地</p>	<p>北部給食センターの老朽化等に対応し、確実な衛生管理のもと、安全で魅力ある給食を提供するため、新北部給食センターの整備に必要な用地を取得します。取得面積は亀首町地内の約10,220㎡、取得価格は約4億438万円です。</p>
<p>【第58号】 大井平公園施設用地</p>	<p>市民の福祉の増進及び観光旅行者の利便を図るため、大井平公園の整備に必要な用地を取得します。取得面積は稲武町地内の約5,663㎡、取得価格は約3,317万円です。</p>



2月24日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、それぞれの常任委員会で審査しました。各常任委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

## 予算決算 委員会

市の1年間の歳入歳出の見積りであり、向こう1年間の政策を盛り込んだ「予算」の審査を行いました。2月25日から3月17日にかけて、付託された予算議案30件を審査し、すべての案件を承認しました。

### ●一般会計予算 [全般]

**質問** 歳入面では新たな財源の積極的な確保を図り、歳出面では支出の最適化を図ることだが、予算編成へどのように反映されたのか。

**答弁** 歳入面では、広告掲載事業の拡大など、これまで実施してきた取組を推進するほか、新たな取組として公有地のインターネットを活用した財産処分、廃校跡地活用による財産貸付などに取組んでいく。歳出面では通信機器の最適配置、ゼロゼロ大作戦などによる事務経費の削減、指定管理料、補助金、負担金の見直しなどで、10億3,800万円余の削減を行った。

### ●一般会計予算 [自治区施設整備費]

**質問** 耐震診断の対象となる施設はどれだけか。また、今後、耐震工事費の補助についてはどうするのか。

**答弁** 耐震診断の対象となる昭和56年5月31日以前に設計された集会所で、耐震診断が実施されていない施設は、集会施設の4割程度ある。また、集会所の耐震工事の工事費については、地域集会施設整備事業補助金の補助対象となっており、工事費の8割以内、限度額600万円を補助を引き続き実施していく。

### ●一般会計予算 [電子申告システム推進費]

**質問** 電子申告システムの現在までの利用率と今後の普及見込みについてどう考えているのか。

**答弁** 利用率については、3月1日時点で法人市民税の申告で約4割に達している。また、給与支払報告書の提出事業者についても約3割で、一昨年の導入当初からおおむね順調に拡大している。今後の普及については、この電子申告サービスを開始している地方公共団体が全国の6割程度にとどまっており、難しい部分があるが、平成24年度末の時点で利用率5割を目標に取組んでいきたい。

### ●一般会計予算 [子ども手当等支給事務費]

**質問** 国会での予算関連法案が否決された場合に児童手当に戻ることになるが、想定している本市の混乱と対応は。

**答弁** 豊田市においては児童手当を支給していた時のシステムが残っているため、テストを行う必要はあるものの、所得判定や支払いの事務に大きな支障はないと考えている。ただし、所得の判定において、平成22年1月2日以降の転入者は、豊田市に所得情報がないために、それぞれ前住地で発行する所得証明書の提出が必要となり、その数は約1,000人と見込んでいる。なお、現在、国での審議の行方が見えない状況であり、今後その動向を注視しながら、適切な対応が取れるように準備をしていく。

### ●一般会計予算 [少人数学級対応市費負担准教員報酬等 及び少人数学級対応費]

**質問** いずれも、豊田市独自の少人数学級の実施にかかる予算だが、その成果の把握と、今後の拡大の方針は。

**答弁** 少人数学級を実施した学級の児童や生徒、保護者、担当教員にアンケート調査を実施するとともに、「欠席率の変化」や「標準学力検査結果」の分析をすすめてきた。昨年度、中学校2年生で少人数学級を実施した学校では、欠席者数が一日平均で21人減少し、また、標準学力検査の結果では、全教科で数値が向上していることがわかった。このような成果が確認されたことから、中学校3年生への拡大をめざしていく。

### ●一般会計補正予算 [生ごみ処理機購入費補助金]

**質問** 当初予算に対して大きな減額補正となっている。現在の生ごみ処理機の普及状況、減額の理由及び今後の対策はどのようなか。

**答弁** 生ごみ処理機購入費補助金制度は平成11年度から開始され、補助台数は順調に伸びてきたが、近年、減少に転じ、平成22年度の実績も考慮し減額補正することとした。普及率は、平成22年4月時点で全世帯の約1割と低い状況である。生ごみ処理機を利用することで、ごみの減量、CO2の抑制などの効果があるため、家電量販店に出向き販売促進等の依頼や、購入後5年を迎える世帯への更新案内、補助対象機器の拡大、パンフレットによる啓発等を行い、補助台数の増加を図っていきたい。



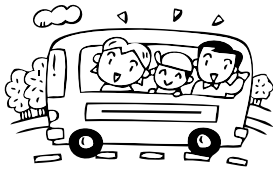
## 産業建設 委員会

3月7日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第13号】 豊田市地域バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

**質問** 旭地域バスの午後1時台の運行を廃止してデマンド方式になるが、利用者見込みはどのようか。また、路線の整理による運行費の増減はどのようか。

**答弁** 利便性が高まることで、800人から900人の利用者が増加すると見込んでいる。また、定期運行の第3便と祝日の運行を廃止することにより200万円の削減があり、デマンドバス運行導入による経費として300万円が増額となるため、差し引き100万円の増額になる。なお、全体の予算要求としてはスクールバスの運行を精査し平成22年度と同程度の額である。



【第59号】 財産の取得（市道鞍ヶ池スマートインター線用地）

**質問** 鞍ヶ池スマートインターチェンジの全体像について、全体の面積、事業の総額、今後の見通しはどのようか。

**答弁** 全体面積は、約20,500平方メートルの用地を取得している。本線の事業総額としては、約15億円弱であり、その内訳として用地費で約2億2,000万円、工事費で約6億円、その他関係委託費等である。今後は12メートル以下の大型車用の改良が完了したのち、3月25日に供用が開始され、利用時間は朝6時から夜10時までとなる。

## 環境福祉 委員会

3月9日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第14号】 豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例等の一部を改正する条例

**質問** 条例改正の目的と内容は何か。

**答弁** 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律が平成22年5月に交付され、本年4月1日に施行されることを受け、関係する3つの条例を改正するもの。条例改正の内容は、大きく3点あり、1点目が排出事業者が産業廃棄物を事業所の外で保管する際の事前届出制度の創設に伴い、豊田市の条例で、すでに義務づけられている同様の届出との調整を図るために規定の整備を行うもの。2点目が廃棄物処理法に基づく報告の徴収と立入検査の対象に「関係者」が加えられたことに伴い、豊田市の条例に基づく報告の徴収と立入検査の対象に関係者を加えるもの。3点目が条項ずれの修正を行うものである。

【第16号】 豊田市介護予防拠点施設条例の一部を改正する条例

**質問** 今回の改正で廃止される桑原ふれあいプラザの今後の活用方針は。

**答弁** 地域の集会所として、従来同様、桑原自治区が会合などに利用していくことになる。自治区の施設になることにより、公の施設としての利用制限等がなくなり、自治区にとっては使いやすくなる。

## 教育次世代 委員会

3月10日及び17日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第11号】 豊田市立学校施設開放条例の一部を改正する条例

**質問** 大沼小学校の夜間照明が廃止されるが、今後学校施設の夜間照明についてどのように考えているか、また夜間照明使用料の考え方はどのようか。

**答弁** 学校のグラウンドへの夜間照明の整備は、中学校または地区運動広場のいずれかに夜間照明を整備することを基準として整備してきた。現在は、一部の地区を除き整備ができた状況である。市民に身近なスポーツ環境の充実を図るため、今後も、順次、学校施設の夜間照明施設を整備していく予定である。また、豊田市の使用料設定の考え方は、受益者負担の原則に基づき、施設を利用する方に維持管理費を負担していただくこととしている。夜間照明使用料の算定については、消費される電気料を使用料収入で補えることを基本に料金設定をしている。

【第57号】 財産の取得（豊田市北部給食センター用地）

**質問** 数年前に隣のガソリンスタンドから地下水に問題があるとの報告があったと記憶しているが、隣接しているこの土地は大丈夫か。

**答弁** ガソリンスタンドの周辺7地点において地下水質調査を実施している。いずれの地点も周辺地域に影響はないと報告されており取得する用地は安全であると認識している。また、給食センターについては上水道を利用するため地下水の利用は考えていない。よって隣接地の地下水汚染については特に問題ないと理解している。



# 委員会

## 生活社会 委員会

3月11日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第2号】 豊田市里山くらし体験館条例

**質問** 利用形態はどのように考  
えているのか。また、寝具  
や食事の対応はどうなっているのか。

**答弁** 一般的な利用としては、都  
市住民を中心とするグルー  
プが中山間地域において農業体験など  
の交流事業に参加する際の会場として  
使用することを想定している。個人の利  
用についても、定住支援の一環として、  
里山における体験宿泊として利用する  
ことを想定している。宿泊者が利用する寝  
具は施設で用意するが、食事について  
は、里山暮らしを体験するという設置の  
趣旨から、施設で用意せず、宿泊者が調  
理室で調理することを想定している。

【第19号】 豊田市産業福祉施設どん  
ぐりの里いなぶ条例の一部  
を改正する条例

**質問** 利用者の目標を17万  
8,000人としているが、こ  
の数値は開設から6年目の数値とほ  
ぼ同じであり、消極的と感じる。ピーク  
時の24万人か、それ以上の目標を設  
定すべきではないか。またPR方法に  
ついてはどのような計画か。

**答弁** 開設当時は、まだ日帰り温  
泉の数が少なかったため、  
24万人の利用者があったが、現状を考  
えて、まずは、平成21年度の12万9,000人  
から17万8,000人まで増加させたい。

これまで、名古屋まつりや、名東生涯学  
習センター祭り、またイオン三好店の観光  
物産展への参加など、稲武地域全体のP  
Rに努めてきたが、今回、どんぐりの湯の  
リニューアルに合わせ、新たに地元の観  
光協会や商工会を巻き込んだ稲武地区  
観光PR事業も計画している。

## 企画総務 委員会

3月14日及び17日、付託された14議  
案を審査し、議案のすべてを全会一致  
で承認しました。

【第61号】 包括外部監査契約の締結

**質問** 契約の相手方の選定理  
由と、市内において契約者  
を探すことはしたのか。

**答弁** 今回の中村公認会計士  
は平成22年度の包括外  
部監査を行っていただいております。監査  
の執行状況や結果報告書の内容等  
を総合的に検討した結果である。

また、本市において新たに包括外  
部監査人を選ぶ場合は、大手監査法  
人4社と、愛知県弁護士会からそれ  
ぞれ1名の希望者を募集し、手を挙げ  
ていただいた公認会計士及び弁護士  
に企画提案書を提出していただき、  
選定委員会において、企画提案書の  
ヒアリング、評価、採点を行い、最も得  
点の高い相手方を包括外部監査人  
に選定をしているので豊田市内で契  
約者を探すことはしていない。

【第64号】 豊田市職員定数条例の  
一部を改正する条例

**質問** 豊田市として、今後の職  
員の定数管理の方針をどの  
ように考えているのか。

**答弁** 市民サービスを維持、向  
上させていくための組織力  
を維持しつつも、引き続き正規職員全  
体としては抑制基調を維持したい。  
その中で、消防職や教育保育職といっ  
た必要人員については確保していく。



## 意見書

【意見書 第1号】  
容器包装リサイクル法を改正し、  
発生抑制と再使用を促進するた  
めの法律の制定を求める意見書

容器包装リサイクル法は、1995  
年に制定されたものの、ごみ排出  
量は高止まり、環境によりリユース  
容器が激減し、リサイクルに適さな  
い塩素系容器包装が未だに使われ  
ているなど多くの課題を抱えている。

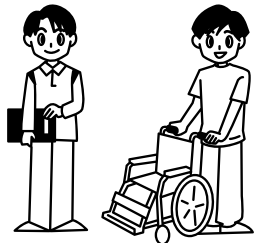
根本的な問題として、税金で容  
器包装の分別収集がされており、リ  
サイクルに必要な費用の約9割が  
製品価格に内部化されていないこ  
とがある。

資源の無駄遣いによる環境負荷  
を減らすことは世界的な課題であ  
り、我が国の一日も早い持続可能  
な社会への転換を図るため、容器  
包装リサイクル法を改正し、発生抑  
制と再使用を促進するための法律  
を制定することを強く求める。

上記の意見書を、全会一致で可決し、  
国等、関係機関へ提出しました。

## 陳情

【陳情 第1号】  
大幅増員と夜勤改善で、安全・安  
心の医療・介護を求める陳情書



【陳情 第2号】  
「容器包装リサイクル法を改正し、  
発生抑制と再使用を促進するた  
めの法律の制定を求める意見書」  
に関する陳情書

上記の2つの陳情が提出され、  
所管の委員会へ報告されました。



討論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

諸派 大村 義則

議案第27号は、水道事業から入る歳入の76%は基金に積み立てていく予算になっている。合併前は、水源の森を抱える他の自治体の間伐事業を一般財源で行うには無理があり、水道料金に上乗せして間伐費を確保する制度は有効だったと思われるが、現状、一般財源で間伐の推進をはかっている。一度つくった制度は、やめられないという行政の姿勢をあらためるべき事を申し上げ、反対。

議案第36号は、市民の負担能力を超えるような高い国保税を、そのまま執行を予定している点を指摘し、反対。

自民クラブ 近藤 光良

議案第2号は、この施設が地域の方たちの定住促進に向けての取組意欲を高めると共に、都市住民の農山村地域への定住意識を高めることを期待し、賛成。

議案第65号は、売買代金の半分しか受け取れないことは遺憾ではあるが、市としては早期の解決が望まれ、

今後の長期にわたる維持管理費に関する負担を避けることが重要であると考える。したがって、今回の和解は妥当な措置と判断し、賛成。

市民フォーラム 安藤 康弘

議案第2号は、定住促進策として空き家情報バンク制度を活用した情報提供が行われることや、団体の交流・情報共有の場として本施設を有効に活用していくことが確認できた。中山間地域活性化に向けた中核施設としての役割を果たすことを期待し、賛成。

議案第18号は、保険税率の引き上げによる市民生活への影響は否定できないが、国民健康保険事業の健全化のためには止むを得ない判断であると考え。今後は保険給付費の抑制に向けたレセプトチェックなど保険者機能の強化を要望し、賛成。

公明党 小島 政直

議案第19号は、道の駅どんぐりの里いなぶや個人商店への相乗効果が期待され、また、大井平公園つり橋の

完成に伴い、地域の魅力が向上し、多くの観光客の来訪が期待でき、地域のますますの活性化、発展につながるものと考え、賛成。

議案第21号は、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用、9億6千万円が計上され、ワクチン接種の公費助成により、市民の健康と命を守ることにつながることなどを評価し、賛成。

諸派 岡田 耕一

議案第50号～53号は、譲渡を受けられる自治区、自治会も地縁団体として認可されていない。市の施設を譲り受け、活用されるのなら、地縁団体として認可され、しっかり登記して頂くことが本来の姿である。今後、市としての方針をしっかりと出し、指導されることを期待し、賛成。

議案第65号は、土地購入者が、今後、継続して水質調査を実施されること、不法投棄の現場にしないこと、産廃処理施設にすることがないように、市として、しっかり監視していただくことを期待し、賛成。

3月市議会定例会に提出された案件

結果	会派別賛否							
	自民クラブ 30名(議長除)		市民フォーラム 10名(1名欠)		公明党 3名		諸派 4名	
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対

◆議案	結果	自民クラブ 30名(議長除)	市民フォーラム 10名(1名欠)	公明党 3名	諸派 4名				
◆議案	結果	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第1号 財産区まちづくり支援条例	原案可決	29	0	9	0	3	0	4	0
2 里山くらし体験館条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
3 附属機関条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
4 市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
5 市職員の育児休業等に関する条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
6 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
7 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
8 特別職職員給与条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
9 市職員給与条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
10 基金条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
11 市立学校施設開放条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
12 学校給食センター条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	2	2
13 地域バスの運行に関する条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
14 産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例等の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
15 地域広場条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
16 介護予防拠点施設条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0
17 国民健康保険条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	3	1
18 国民健康保険税条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	1	3
19 産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部改正条例	//	29	0	9	0	3	0	4	0







# 会派代表が市長、教育長に問う

3月市議会定例会において、新年度に向けた「施政方針」、「教育行政方針」に対し、それぞれの会派の代表者が2月21日に代表質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約してご紹介します。

## 自民クラブ

河合 芳弘

### 質問 市長の政治姿勢

平成23年度は鈴木市政3期目の最終年度にあたる。財政的には引き続き厳しい状況が続くと予想されるが、今後の市政経営にあたり、最終年度としての市長の政治姿勢をうかがいたい。

**答弁** 任期中に発生した世界同時不況は本市にも大きな影響をもたらし、財政的にも非常に厳しい状況となった。マニフェストの実行のため、中央保健センターの着工を見送るなどの措置を取る一方、短期経営方針を策定し財政運営を検証する作業を行い、豊田市版プライマリーバランスの黒字化方針に沿って基金の積み立てや市債の償還などの成果を上げることができ、マニフェスト実施の目処が立った。引き続きマニフェストの実行に最善を尽くし、景気対策や市民生活に直結する一連の施策にもしっかり取り組んでいきたい。

### 質問 市民の健康づくり

市民が生涯を安心して生活するための基本は健康であり続けることである。市民の健康づくりに対する考えと、中山間地域における医療体制、地域医療センターの整備方針について、市長の考えは。

**答弁** 平成23年度に取組むべき施策として、生活習慣病対策や感染症予防対策、医療体制の整備を位置づけている。また、食と運動を通じた健康づくりや検診対象者の拡大などにより高齢者の健康維持に努めたい。中山間地域のへき地医療を担う足助病院は老朽化が進み、診療機能充実の必要もあることから、現在地で再整備を行うこととし予算措置を行った。地域医療センターについても医療対策懇話会などの検討経過を踏まえた望ましい方法について検討を進めたい。

### 質問 都市基盤づくり

都市の骨格をなす道路整備や人口増につながる土地区画整理などの基盤整備は、本市の発展に欠かせない重要な施策である。限られた財源の中で必要な都市基盤整備をどのように進めていくのか。

**答弁** 都市基盤整備は、どの事業においても多くの時間と資金が必要となるため、事業を進めるにあたっては中長期的な計画に基づく十分な準備と着実な実施が求められる。また、公共事業に対する国の予算削減といった懸念事項もあり、事業の取組には長期的な財源の見通しがよりいっそう大切である。現在着手している事業を含め、今後検討している事業について第7次豊田市総合計画などこうしたことを念頭に進めていきたい。

### 質問 特色ある学校教育

本市は「ものづくり教育」という特色ある教育が展開されているが、この「ものづくり教育プログラム」を含め、これまでの取組みの評価と今後の方向性についてうかがいたい。

**答弁** 平成22年度は、生涯学習課と学校とが連携して行う「ものづくり教育プログラム」を16校で実施した。今後は、教員自らが、ものづくりサポーターの協力を得ながら授業で実施できるよう、教員研修の実施も考えている。また、特色ある学校づくりが行えるよう、校長裁量の予算を確保し「チャレンジ&ドリーム校推進事業」を実施しており、地域との連携や自然体験、福祉や伝統文化に関する活動などを通して、子どもたちの生きる力の育成に成果を上げている。



## 市民フォーラム

湯本 芳平

### 質問 子育てを支える取組

安心して子どもを産み育てる環境づくりは、将来のまちづくりに欠かせない。「夏休み放課後児童クラブの4年生への拡大に向けた検証」の他に、子育て環境の充実に向けた新たな事業があれば伺いたい。

**答弁** 放課後児童クラブにおける対象学年の拡大は、平成23年度の夏休みに小学4年生の受け入れを3箇所ですべて試験的に実施し、保護者だけでなく子どもの気持ちもしっかり確認をして今後の方向を定めていきたい。また、緊急的な待機児童対策として保育ママ事業のスタートを予定している。すでに準備を整えており、平成23年度は市内こども園の空き部屋を活用し、2箇所ですべて試験的に実施する。

### 質問 環境モデル都市への取組

次世代エネルギー・社会システム実証地域の認定を受けた本市が計画している「低炭素モデル地区」は、市の将来を大きく左右する事業であり、ぜひ成功させていただきたいと考えるが、市長の見解は。

**答弁** 低炭素モデル地区は、環境モデル都市の目玉のひとつとして整備をする予定で、平成23年度は環境緑化の設計と一部整備事業にも着手する。協議組織にも参加し、交通や住宅など市民生活に関する先進環境技術やシステムを導入することにより、快適で低炭素な暮らしを体感する場として、地域システムの普及に努める。今後は産・学・官による検討会の設置など、民間企業が参加しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。



※質問順に掲載しています。

※施政方針・教育行政方針は、広報とよた4月1日号に折込みの「予算のあらまし2011」に掲載されています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団

## 代表質問

### 質問 産業基盤の整備への取組

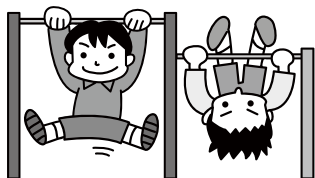
本市が定めた公契約における基本方針が、自治体発注工事や請負契約の低入札による下請業者などへの負担や労働者の低賃金につながる現象を阻止できることを望むが、市長の見解は。

**答 弁** 一部の自治体では公契約条例制定の動きもあるが、法的合理性に課題があると判明したため、本市としては、新たな公契約の取組として「豊田市公契約基本方針」を定め、総合評価方式による入札を4月から導入する予定である。これには労働者への賃金の上乗せや労働条件の向上、雇用の創出に対する提案、検証方法の提案についての内容を新たに設け、企業の適正な利益を確保することを目的としている。

### 質問 子ども部との連携

幼保一体型「こども園」の設置など、先進的施策を展開している本市を高く評価している。今後も教育環境の整備のため、子ども部と教育委員会の連携が途切れないことを望むが、教育長の考えは。

**答 弁** 子どもたちの健やかな成長を支える視点から、教育委員会と子ども部は役割を分担しながら常に連携をとって施策を展開している。放課後児童クラブの子どもたちの様子や児童虐待の情報についても子ども部と教育委員会とで共有して連携・対応しており、子ども部から学校にはたらきかける場合は、教育委員会とともに指示や連絡をしている。今後も子ども部との連携を図りながら、子どもの健全育成に向けた取組を充実させていく。



## 公 明 党

佐藤 恵子

### 質問 平成23年度予算編成の考え方と方向性

平成23年度予算編成において、基金の取り崩しと豊田市版プライマリーバランスの黒字化の制限を超えた市債を発行した。基金の残高や市債の償還など、財政健全化については税収の見通しが予測できない状況下であるが、今後の方向性について市長の考えは。

**答 弁** 平成23年度の当初予算で計上した基金繰入のうち67億円は財政調整基金から繰入れ、その他についてはそれぞれの事業目的による基金から繰入を予定していたものである。3月の補正予算において、新たに財政調整基金と教育設備基金に積み立てるため、基金残高を大幅に減少することはない。市債は増額となったものの、市民生活に直結する事業予算に限定している。市債の償還や市債増額を最低限にとどめたことなどと併せて、プライマリーバランスの黒字化に向けた制限の一部解除にご理解いただきたい。今後も短期経営方針に沿って一定の投資的経費を確保するとともに、健全化に向けた財政運営を行う。

### 質問 「子育て」しやすい環境づくり

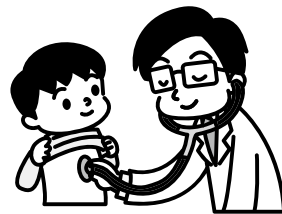
待機児童解消への取組の方向性について、また、子どもにやさしいまちづくりを推進するための取組として家族のコミュニケーション推進事業や子どもホームページ開設などが挙げられているが、それらの事業のねらいについて伺いたい。

**答 弁** 待機児童対策については、施設整備だけでなく市民と共働で子どもを受け入れる事業が効果的だと考えており、中でも、新たに取組んできた「保育ママ事業」に期待している。家族のコミュニケーション事業については、親子の日などを設定し、市民が広く参加できる事業を展開したい。子どもホームページについては、子ども条例に規定する「参加する権利」を保障する取組として、平成24年度の開設を目標に考えている。

### 質問 各ワクチンの事業概要

子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種の事業概要について、その取組内容と、市民の命と健康を守ることへの市長の思いは。

**答 弁** 平成23年度より、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を全額公費で助成する。助成制度の開始については、広報とよたやホームページ、中学校と連携した対象者へのおしらせなどで啓発する。今回の助成については、市民の健康や命を守るという視点から、当初は市独自で子宮頸がんワクチンの接種費用の助成について検討していたが、国において新たな支援制度が示されたことを踏まえて3つのワクチン接種費用の助成を実施することとした。



### 質問 学校・家庭・地域の連携による学校教育の充実

最近、社会のモラルが低下したと言われている。子どもが社会生活を送る上で必要な事柄について学ぶには、家庭でのしつけと学校での指導が同じ歩調で進められることが重要と考えるが、教育委員会の取組について伺いたい。

**答 弁** 青少年相談センターからこども園や学校等に家庭教育アドバイザーを派遣し、園や学校と協力していくことの大切さなどについて啓発している。また、民生委員児童委員協議会が提唱する「わが家のルールづくり運動」への取組は、家庭生活におけるモラルを再確認できるよい機会となっている。加えて、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発にも継続して取組んでおり、家庭での生活リズムを見直す機会と位置づけている。



2月22日から24日にかけて、22人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する5月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

高木キヨ子

自民クラブ

- 出資法人に対する取組
- 豊田市青少年センター

質問 産業文化センターを若者支援の拠点に

産業文化センターはとよた科学体験館を併設し、青少年のための事業を多く展開している。また、センター内には国際交流協会や男女共同参画センターなどが入居しており、これらとの共働による幅広い事業展開も可能。ここを若者支援の拠点として活用することを提言するが、市の見解は。

答弁 市長

産業文化センターは市駅に近いので、青少年が「まちづくり」や「まちなのにぎわいづくり」の主役となって活躍できる場所という意味では条件に合うが、他の目的で利用している施設であるため調整等が必要。意見として今後の参考にさせていただく。

岩月幸雄

自民クラブ

- 次世代確保の施策

質問 市民の結婚活動支援に関する予算化の考えは

晩婚・未婚による影響は、人口の減少などの原因となり、都市としての存続のかかる重大な問題だ。行政として晩婚化・未婚化を改善する施策が必要だと考えるが、市の見解は。また、結婚活動支援について予算化する考えはあるか。

答弁 子ども部

晩婚化・未婚化は出生数の減少に直接的な影響を与え少子化の原因となるため、行政がその対策に取り組む必要があると考えている。市の施策としては、現在も市だけではなく、社会福祉協議会、NPO法人、商工会などが出逢いの場を提供するイベント等を開催しているが、今後も必要な施策については予算化を考えていく。

神谷和利

自民クラブ

- 後期実践計画の策定にむけて
- 自治区の法人化
- ごみ減量推進

質問 普通建設事業費の確保額の見直し

普通建設事業費について、短期経営方針によれば平成24年度までは平成21年度予算305億円と同程度を確保するとしているが、平成25年度以降も同様に確保できるのか、見直しを伺いたい。

答弁 経営政策本部

平成23年度当初予算案では、市債借入と基金繰入による240億円の財源調達を行った。普通建設事業費を確保するために市債と基金に大きく依存した財源構造を今後も継続することは、健全財政維持の観点から見て多くの課題がある。平成25年度以降の確保額は、後期実践計画の策定時に歳入予測を行うとともに市債や基金の活用見込みも踏まえ、改めて判断する。

鎌田ひとみ

公明党

- 動物愛護
- 新しい福祉

質問 地域猫対策と動物愛護センター建設

のら猫対策として、地域でフンやエサの管理を行い、不妊去勢手術を施した「地域猫」の取組が全国で展開されていることについて、市の考えは。また、今後の動物愛護センター建設計画について状況を伺う。

答弁 福祉保健部

市内での地域猫の活動は把握していないが、猫問題の解決法のひとつとして、地域猫は優れた方法だと認識している。今後も他市の実施状況などの情報収集やボランティア活動団体との意見交換を行い、より良い方策を研究していきたい。また、(仮)動物愛護センターの建

設は、前期実践計画のローリング結果では財政状況により延期となっており、後期実践計画の中で対応を考えたい。

岡田耕一

諸派

- 絶対に繰り返してはならない! PCB事故!!

質問 PCB漏えい事故に関する本市としての見解

平成22年11月11日に起こったPCB漏えい事故は、日本環境安全事業株式会社(以下JESCO)自らの報告ではなく、情報提供者からの市への通報によって発覚したものだ。しかし、報告書では内部告発により発覚した事の反省が見られない。本市としての見解は。

答弁 環境部

気密試験の事故では豊田環境サービス株式会社(以下TKS)が軽微な漏えいトラブルとして取り扱い、JESCOも十分な確認を行わず、TKSから事故報告としてあがらなかったため、対応が後手に回った。事故のあった配管系統を見ればPCB汚染を疑うのが当然であり、現場の対応に甘さがあったことは否めない。市は、JESCOに対し作業においては常に安全側で判断することが必要であると指導している。JESCOでは、総点検を通じて社員の危機管理の意識高揚に取り組んでいる。

清水郁夫

自民クラブ

- 地域における「老人クラブ」「女性会」の存続
- 鳥インフルエンザの対策

質問 「老人クラブ」「女性会」に関する今後の市の取組

老人クラブや女性会は、地域の高齢者や女性の活動の場としてだけでなく地域活動や災害時の救助活動など公益性も高いため、存続を期待したい。両団体の今後について市はどのように取組んでいくのか。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

一般質問

答 弁 社会部

今後も老人クラブの存続を図るため、事務処理の簡素化、役員の負担軽減、嗜好別の小グループづくりなど、老人クラブ活性化に向けて活性化推進委員会などで引き続き協議する。女性会へは、学習会のための講師料助成や講座の開催などを行い、女性が地域で活躍できるよう支援する。また、地域運営の手引きの中でも、地域の女性の登用を支援し地域活動における女性の参画を進める。

杉 浦 昇 自民クラブ

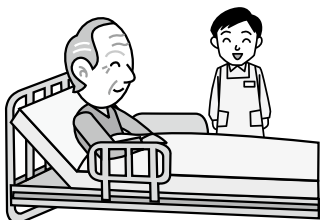
●第5期介護保険事業計画の方向性

質 問 第5期介護保険事業計画への新サービス追加

現在、厚生労働省では介護保険法の改正案として「24時間定期巡回・随時対応サービス」「高齢者向け住宅」「認知症支援」の新型サービスを創設しているが、これらのサービスを第5期介護保険事業計画へ追加する考えは。

答 弁 福祉保健部

24時間定期巡回・随時対応サービスは、国によるモデル事業の実施結果や本市における事業者参入の意向を踏まえたうえで新たに追加していきたい。サービス付き高齢者住宅は、制度の内容が明らかになった段階で、関係課と連携を図り検討したい。認知症支援は、国において認知症ケア総合推進事業や市民後見推進事業の創設が図られているが、本市ではすでに徘徊高齢者等家族支援の取組や地域で高齢者を見守る「ささえあいネット」の実施を進めている。今後は、既に実施している事業を推進するとともに、第5期計画では、国の創設事業についても検討したい。



安 藤 康 弘 市民フォーラム

●子どもの健全育成支援

質 問 児童虐待防止に向けたガイドラインの策定

子ども総合計画に掲げられている「子ども救済ネットワーク体制の構築」の新規事業、「(仮)子どもの相談・権利侵害対応ガイドラインの策定」について、具体的な取組内容を伺いたい。

答 弁 子ども部

平成22年度から市内6つの相談機関と作業部会を設置し、相談事例の共有や各相談機関の役割の確認、適切な対応方法の指針等を示すガイドラインの策定に取り組んでいる。このようなガイドラインは他に例がなく作成に苦労しているが、この取組をきっかけに相談機関の連携をさらに進め、子どもの権利侵害の予防、早期対応、解決につなげていきたい。

根 本 美 春 諸 派

●ますます広がる買い物難民への対策を  
●安心できる住まいの保障を

質 問 高齢者や障がい者への買い物支援の必要性

買い物難民の広がりを見ると、車に乗れない高齢者や障がい者への買い物支援が緊急に必要と考えるが、具体的な支援策について市の見解は。

答 弁 産業部

市としては、移動販売や宅配サービス、空き店舗を活用した買い物支援事業など商業者が地域課題をビジネスの手法で解決する事業を想定しており、平成23年度早々に事業の公募を予定している。車に乗れない高齢者や障がい者への生活支援策としては、福祉車両運行事業や高齢者等交通対策事業、タクシー料金助成などを行っている。また、基幹バスや地域バスについても、買い物に利用できるよう拡充を図っている。

内 藤 貴 充 市民フォーラム

●健康づくりをリードする豊田市

質 問 地域に根ざし自立するスポーツクラブへの支援策

本市には地区総合型スポーツクラブが13クラブあるが、まだまだ地域のスポーツクラブとして認められている状況にない。「地域に根ざした自立するクラブ」への、市の支援策について伺いたい。

答 弁 教育長

「地域に根ざした自立するクラブ」とは、地域住民が主体的に運営し、地域に必要なクラブとして継続した事業が展開できる状態を意味する。支援策としては、地域関係者と意見交換会を開催するなど、地区総合型スポーツクラブを地域の人たちに理解してもらう場を広げ、また、クラブの成長に併せた評価指標を導入し、補助金など各種支援策の要件とすることで自立に向かってステップアップできる体制を整備していく。

大 村 義 則 諸 派

●PCB処理施設の漏えい事故と市の対応  
●政府に対してTPP参加反対の意見を

質 問 PCB漏えい事故に際して運転再開の見送りを

PCB漏えい事故が起こった処理施設は、施設の構造上の問題、運転管理上の問題などがあり、特に労働関係の問題が依然大きい。それらが改善されるまでは運転再開を認めるべきでないと考えるが、市の見解は。

答 弁 環境部

今回の施設の停止は、本市の指導を受けたJESCOが、速やかな総点検の実施と組織体制強化を目的として自主停止に踏み切った。今回の再生計画で一応の目処も立ち、自主停止のハードルは越えたと考えている。また、安全監視委員会も改善対策に取組、課題は残るものの再開に向けてのスタートラインに立ったと評価を受けた。また、労働問題について本市としては、派遣構造が法的に問題がない以上、今の社員教育などを一層充実させることが大切と考えている。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

八木 哲也

自民クラブ

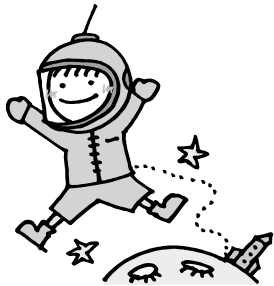
●科学技術教育の推進

質問 教育委員会における  
科学技術振興課の必要性

本市はものづくりに関する事業を積極的に行っているが、物理だけにとどまらず、科学全般の中でものづくりを位置づける必要がある。文化振興やスポーツ振興のように、科学技術教育推進のため「科学技術振興課」が必要であると考えがいかがか。

答 弁 教育行政部

科学技術教育の振興については、現在、学校教育部や社会部との連携によって有効に機能しており、現段階では今の組織で対応できると考えている。将来的にそのような課が必要となった場合には、状況に応じて検討していく。



山内 健二

市民フォーラム

●交通死亡事故の撲滅を目指して

質問 交通安全学習センター  
実績と今後の課題

交通安全学習センターについて、こども園や小学校、老人クラブといった団体に対する交通安全講習の実績を伺いたい。また、同施設の課題と今後の進め方について、市の考えは。

答 弁 社会部

交通安全学習センターでは、園児・児童を対象にした講習や10人

以上の団体からの申込みを受け講習を実施。昨年4月から本年1月末までの講習実績は、385団体18,222人。交通死亡事故で高齢者の占める割合が高まる中、多くの高齢者に受講していただく必要があると考えている。老人クラブ単位での受講は多いが、今後は老人クラブに加入していない高齢者にも講習を受けてもらえるよう対策を進める。

清水 元久

自民クラブ

- 豊田の森づくり
- 法制定による公共建築物等への木材利用促進

質問 豊田の森づくりに関し  
行政の業務体制の充実を

国や県の進める森林政策への対応、目標達成に向けた今以上の森づくり会議の充実や団地化の拡大を目指すためには、行政の総合的かつ合理的な業務体制の充実が必要だと考えるが、市の考えは。

答 弁 市長

合併により広大な森林を有することとなった本市は、これまで専門の担当組織をつくる一方、森づくり条例や100年の森づくり構想を定め森林整備に対する姿勢を明らかにしてきた。国や県の森林政策は不透明な部分も多いが、本市のこれまでの取組は今後の動きにも十分対応できると考えている。必要があれば現体制の変更や強化を考えていく。

加藤 和男

自民クラブ

- 持続可能な都市づくり

質問 御幸前田地区における  
まちづくりの方向性

御幸前田地区では安永川トンネルの完成を控え、駅に近い区域や幹線道路沿いなどへの民間開発により無秩序な土地利用が進む恐れがあるが、同地区におけるまちづくりの方向性について市の見解は。

答 弁

都市整備部

御幸前田地区は都心地区とトヨタ自動車本社地区に隣接し、2つの鉄道駅を有することからも、将来、都心や産業技術核の拡張を見据えた住宅地と工業地両面からの都市的土地利用が考えられる。将来都市構造の実現に向け、地理的に重要な地区であることから、単なる宅地供給を目的とした土地区画整理事業ではなく、より効率的な土地利用を図るため、市の方針を定め基盤整備に取り組む必要がある。



山野辺 秋夫

市民フォーラム

- 農山村地域の活性化

質問 農山村地域の  
地域相談員の配置

農山村地域では、耕作放棄地の増加や、過疎・高齢化による集団機能の維持といった課題に取り組む担い手の育成支援が必要であり、農山村地域への地域相談員の配置が必要と考えるがいかがか。

答 弁

社会部

現在は高橋、猿投、上郷の各支所に地域相談員を1名ずつ配置し、地域の問題や課題の解消に向けた取組を実施している。平成23年度より、過疎地域における定住や小規模高齢化集落の問題など、農山村地域特有の問題や課題の解決に向けて、農山村地域の支所にも地域相談員を配置する予定。

鈴木 規安

自民クラブ

- 環境モデル都市推進

質問 本市が描く低炭素社会とは

本市が数十年先を見据えて描く低炭素社会とはどういうものなの



一般質問

諸 派：会派所属無

か。また、その実現のために次の世代に引き継いでいく取組について伺いたい。

**答 弁** 経営政策本部

低炭素社会とは化石燃料に依存しない社会を指し、本市は、活発な市民活動と強い経済活動に支えられた活力ある低炭素社会を目指している。次の世代に引き継ぐためには、当面、環境モデル都市アクションプランや家庭・コミュニティ型の低炭素都市構築実証プロジェクトマスタープランに特化し、プランに基づいて着実に取組むことが重要だと考えている。

**山田和之** 自民クラブ

●一般廃棄物処理基本計画

**質 問** 生活排水処理基本計画の本市と「合特法」の関係

「一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法(合特法)」は、下水道の整備により業務の縮小を余儀なくされたし尿収集業者や浄化槽清掃業者に対して業務支援や助成措置を行うものだが、この法律と本市の関係について伺いたい。

**答 弁** 環境部

昭和63年度から供用開始された下水道の普及に伴ってし尿収集量が減少し、し尿収集業者の経営に影響が出始めた。そのため、市としては平成13年度から合特法に準じて業務支援を行っている。平成23年度からは合併地区も含め、代替業務による支援を実施する。

**三 江 弘 海** 自民クラブ

●中山間地の産業振興  
●矢作川

**質 問** 木質バイオマスの本市の取組

新たなエネルギー源として注目を集めている木質バイオマスは、循環型社会に適した取組であり、新た

な雇用も生まれるなど中山間地域の環境産業の創設にふさわしいと考えるが、本市としての取組状況は。

**答 弁** 産業部

これまでバイオマス利用の検討や情報の共有化を図ってきたが、木質バイオマスのエネルギー利用は採算性の課題などから本格的な導入には至っていない。しかし森林整備の観点から平成23年度に木質バイオマス活用促進事業の試行を計画している。この事業は、流通経費の一部を補助し、建築材料にならない間伐材を渡刈クリーンセンターの助燃剤として利用するもので、エネルギー活用だけでなく、自分で間伐する森林所有者の増加と間伐材の有効利用を目的としている。

**庄 司 章** 市民フォーラム

●人と環境にやさしい安全な交通  
まちづくり

**質 問** 新交差点改良計画について今後の本市の対応は

平成18年度に策定した豊田市新交差点改良計画について、完成目標は平成24年となっているが計画が遅れている。今後の対応について伺いたい。

**答 弁** 建設部

未整備の19箇所の交差点のうち、平成24年度末に12箇所、平成27年度末までに5箇所が整備完了予定。残る2箇所は区画整理事業などの事業計画に合わせて整備を予定しており、完了時期は明確になっていない。引き続き早期完了を目指し、国や県などの道路管理者、および公安委員会と連携し整備を進めていく。



**近 藤 光 良** 自民クラブ

●活力ある都市づくりを目指して  
●安心社会を目指して  
●南部地域の公的医療サービスの充実

**質 問** 南部地域における公的医療サービスの充実策

豊田市の医療サービスを検討するにあたり、南部の人たちが安心して医療サービス体制を構築することが大切であると考えているが、市の見解は。

**答 弁** 市長

市の医療センターの再整備については、関係者の協力を得ながら、平成23年度から整備手法などの検討に着手する。南部地域の医療提供体制についてもその中で考えていく。

**田 中 鋭 司** 自民クラブ

●産業の誘導とインフラ整備  
●中山間地域の将来に向けた取組  
●幼児教育の振興と学校教育の充実

**質 問** 本市における幼児教育の方向性

少子化の進行は幼児教育に大きな影響を及ぼすと考えるが、本市は幼児教育について今後どのような方向性を見だし、取り組んでいくのか、市長の考えは。

**答 弁** 市長

幼保一体化の取組をはじめ、本市は子どもに向けるさまざまな施策を他自治体に先駆けて行ってきた。また、本市は豊田市保育過程指導計画に基づいた教育保育活動を進めており、子どもたちの発達に応じた個々の自主性、社会性、協調性などを育む取組を行っている。これを今後一層充実していくためには保護者の理解や協力が不可欠であり、そうした取組も含めてさらに研究努力を重ねていく。



## ●岩倉小児童が議会を傍聴 議会を身近に感じるきっかけに



▲一般質問を傍聴する岩倉小学校6年生の児童

2月23日には岩倉小の6年生42名が3月定例会の傍聴に訪れ、豊田の森づくりや公共建築物への木材利用促進についての一般質問を熱心に聞いていました。

豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会傍聴や議場見学の受け入れを行っています。

### 謹んでお見舞い 申し上げます

豊田市議会では、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災地の皆様に対して、議員親睦会などから計152万2,342円の災害見舞金を送らせていただきました。

## 市議会の傍聴・見学のご案内

### ■議会の傍聴

市議会の様子は、会期中どなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入した後は自由に会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

★代表・一般質問の質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています

### ■議場の見学

会議のない日は、議場を見学することができます。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

### 傍聴受付

※会議の始まる30分前から受付

本会議  
→市役所南庁舎8階

委員会  
→同7階委員会室前

※会期日程は広報とよた、市議会ホームページなどをご参照ください

## FMラジオ番組『市議会の扉』 今後の放送予定

毎月第4木曜日、エフエムとよた(ラジオ・ラビート)で議会のPR番組をオンエア中です。どうぞ、こちらもお聞きください。

### [放送チャンネル]

ラジオ・ラビート 78.6MHz  
[4月～6月の放送予定]

4月28日・6月23日  
※いずれも13:00～13:10

### [再放送]

放送日直後の日曜 8:45～8:55

## ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索

「市議会だより」のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>  
<🔍その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/21ch(アナログ) 121ch(デジタル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

## 5月市議会臨時会の予定

5月市議会臨時会は  
5月18日(水)開会予定です

※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。

※このページは裏面になります。本紙から抜き取ってご覧ください。

## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています